

令和2年度大阪府立泉大津高等学校学校運営協議会（第2回） 議事録

日 時：令和2年12月22日（木）14:00～15:30

場 所：大阪府立泉大津高等学校 応接室

出席者：湯峯委員、浦西委員、安岡委員、植野委員

山田校長、下澤事務長、林首席、森岡首席、中村教頭

議題

- ① 令和2年度学校経営計画の進捗状況について
- ② 学校教育自己診断について

質疑応答・意見交換

Q. コロナ禍であるにもかかわらず、「部活動が活発である」の肯定的評価が高い理由は何か。（会長）

A. 公式戦に参加できた運動部では、女子バスケットボール部が4回戦、サッカー部・硬式野球部が3回戦進出した。また、体操部も多くの表彰があった。公式戦での活躍から評価が高くなったかもしれない。文化部は、吹奏楽部のコンクールが中止になるなど活動が限定的であったのが残念であった。

Q. 学校行事に対する満足度はいつも高いが、今年度はできてよかったという思いが大きいのでしょうか。（会長）

A. 体育祭も文化祭もできたのは大きい。どちらか一つだけ実施という学校は多かったように思う。

Q. 体育祭はプログラムを工夫されたのか。

A. 感染防止のためにプログラムを精選した。競技は減らし、応援セレモニーは残した。「先生は生徒の意見を聞いてくれる」の数値が今までで一番高かった。体育祭・文化祭は中止にならなかったということへの生徒たちの評価であると思う。

Q. GIGA スクール 構想や学校の ICT 化は進んでいるのか。（会長）

A. 環境は整いつつある。アクセスポイントの設置し、Wi-Fi 環境が整っているが、生徒が端末を使用するところまではまだ遠い。現在は教員用の端末を接続してどういうことができるかを模索しているところである。

Q. 生徒の端末はいつ配置されるのか。(会長)

A. 現在は教員が使う端末を整備しているところである。生徒の端末も来年度中には整備される。

Q. ものの整備は先行しているようだがそれらを使ってどんな授業をするかどんなことをさせるのかそれはまだあまり進んでいないようですね。(会長)

A. 新学習指導要領実施に向けて観点別評価や主体的対話的な深い学びのある授業の構築で進めているところである。

プロジェクトチームを立ち上げ進めている。非常に良いものが出来つつあるのでそれらを全体にどう広めていくかというのがこれからの課題である。

新カリキュラムがスタートした時にスムーズに移行できるようチームで進めている。非常に業務量も多くなるので、その他の業務も精選しながら効率化を図っていく必要がある。